

(陳受24第18号)

保育料改定に関する陳情

受理年月日

平成24年11月28日

陳情者

西久保2-18-6 西久保保育園内
東京都社会福祉協議会保育部会武蔵野保育士会
会長 藤居 紀子 ほか1名

陳情の要旨

私たちは、東京都社会福祉協議会保育部会武蔵野保育士会に所属し、民間保育園で働く保育者です。

昨今の不況下で、保護者の皆さんの労働環境は悪化し、賃金の切り下げなどにより生活実態は大変厳しくなっています。さらに、消費税の増税、復興税の課税、社会保険料負担増などが今後予定される中で、保育料が引き上げられるならば、ますます子育て世帯の家計は圧迫され、安心して子どもを産み、育てることが難しくなっていきます。今回の保育料改定案では、所得の低い層は一定の軽減措置がとられ、第3子減免なども行われることは大変喜ばしいことです。しかし、D階層以上の階層区分では全体として引き上げられ、高額保育料となります。私たち保育者のもとにも、毎日保護者の皆さんから保育料負担の増額について不安の声が寄せられています。

内閣府や厚生労働省の調査などでも、幼稚園、保育園に係る経費について、6～7割の家庭が軽減を希望しています。残念ながら、今回の保育料審議会においては、このような本市における子育て世帯の意識調査などは行われておらず、保育料改定案に反映されているとは思えません。私たちは、日々保護者に接するものとして、保育料改定に当たっては保育園利用者の意識調査を行うべきであると考えます。

つきましては、下記事項につき実施されますよう陳情いたします。

記

- 1 保育料改定に当たっては、保育園利用者や子育て世帯の意識調査などを行い、反映させてください。